

ゆめだより

第3号



花と香り 二つの楽しみ

平成25年7月発行
発行所 社会福祉法人松本ハイランド
〒390-1242 松本市大字和田 2240-33
Tel 40-3377 Fax 40-3370
<http://www.yumenosato.info>

『ラベンダー』 ——

地中海沿岸が原産地といわれるシソ科のハーブ。
北海道富良野の一面のラベンダー畑はあまりにも有名ですが、ここ「ゆめの里朝日」の玄関前の花壇にも、6～7月に一株の大きさでは負けない見事なラベンダーが濃紫の花を咲かせています。

花を楽しんだ後は、刈取り、乾燥させポプリとして手づくりの袋に入れ香りを楽しみます。

花言葉は「期待」。ゆめの里朝日の美女3人はラベンダーを前に、何を思っているのでしょうか。

サービスの質向上、地域との交流など

第三次中期計画（H二十五～二十七年度）がスタート

（社福）松本ハイランドでは、とりまく環境変化に対応して、二十五年度からの第三次中期三カ年計画を策定し、具体的な事業に取り組んでいます。

計画は、第二次計画に引き続いて、基本となる「地域」「利用者」「職員・職場」に基づき、法人としては①地域と共に歩み、安心して暮らせる地域福祉の実現②個人の尊厳を大切に、利用者主体のサービスの徹底③常に目標にチャレンジし、自己と組織の向上を図ることを目標に掲げ、それを基に部署ごとに三年後の目標を設定し、その実現に向けて年次別に実施具体策を立てたものです。



今回の計画の特徴は、ほぼ全職員が計画づくりに参加した点で、各部署ともサービスの質向上、地域との交流等意欲的な目標が立てられ、自己と組織の向上への意気込みがうかがえます。

法人の実施具体策では、①地域福祉ニーズへの貢献としての相談会の開催、②良質かつ安心・安全なサービスの提供として職員教育・研修プログラムの実践、サービスの評価・改善システムの確立、③魅力ある職場づくりとして、多様な働き方に対応できる人事システムの完成や働く環境整備としての健康相談窓口の設置、腰痛予防の取り組み、職員間の交流促進、キャリアサポート体制の確立等が盛り込まれています。

組織機能強化の面では、法人本部に「経営企画室」を設置し、その下に「サポートセンター」を設けて、多様化、複雑化する介護・福祉事業環境や労働環境に対応するための業務執行体制の整備を行いました。

施設・事業所がめざす目標(その1)・・・ご利用者様への思い

- 特別養護老人ホームゆめの里和田 …… ご利用者・家族が居心地良く、笑顔で過ごせる施設
- ゆめの里和田デイサービスセンター ……ご利用者一人ひとりの個性を受け止め、その人が必要とするサービスの提供
- ゆめの里和田訪問看護ステーション …… ご利用者・家族が、その人らしく自宅で生活できるようゆめの里訪問の特色を生かした看護
- 特別養護老人ホームゆめの里朝日 ……家庭的でご利用者一人一人が安心して生活できる施設
- ゆめの里朝日宅老所 …… ご利用者が宅老所に来ることが楽しみで、生きがいだと思ってもらえる施設
- ゆめの里新村宅幼老所 …… 家庭的な温かさとおもてなしの心で、一人ひとりの自分らしさを支援
- ゆめの里福祉相談センター訪問介護 …… 住み慣れた我が家で出来る限り長く生活出来る支援
- ゆめの里福祉相談センター居宅介護支援 …… 一人ひとりが幸せであるよう、ご利用者の強みを見出せるケアプランを立てる事ができる事業所
- 養護老人ホーム松本市立松風園 …… ご利用者一人ひとりの思いを大切に、施設の環境が利用者の生活にとって快適なものになるよう支援

24年度事業から

初めの里和田が平成十四年四月に開設して、十年が経過し、十一月十八日にJA松本ハイランド、地元和田町会等来賓を招いて記念催事が開催されました。

式典では、山田理事長が「これからも利用者・地域にとって安心と信頼の拠り所となる施設づくりに取り組む」とあいさつ。また長年に亘って施設への支援活動をされたボランティア組織、利用者の声を聴く会等十一団体に感謝状が贈られました。

初の職員大会開かれる



ゆめの里和田十周年記念催事開催

ゆめの里和田が平成十四年四月に開設して、十年が経過し、十一月十八日にJA松本ハイランド、地元和田町会等来賓を招いて記念催事が開催されました。

式典では、山田理事長が「これからも利用者・地域にとって安心と信頼の拠り所となる施設づくりに取り組む」とあいさつ。また長年に亘って施設への支援活動をされたボランティア組織、利用者の声を聴く会等十一団体に感謝状が贈られました。

平成24年度決算報告 (単位：百万円)

貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	499	流動負債	210
固定資産	1,213	固定負債	26
(基本財産)	769	純資産の部	
(その他固定資産)	443	基本金	645
		国庫補助金等特別積立金	482
		その他の積立金	171
		次期繰越活動収支差額	178
資産の部合計	1,712	負債及び純資産の部合計	1,712

事業活動収支計算書

勘定科目	金額
事業活動収入計①	1,101
事業活動支出計②	1,070
事業活動外収入計③	4
事業活動外支出計④	1
当期活動収支差額①-②+③-④=⑤	34
前期繰越活動収支差額⑥	244
その他積立金繰入額⑦	100
次期繰越活動収支差額⑤+⑥-⑦	178



長期連続研修でステップアップ

職員意向調査と個別面談をベースに八月から翌年三月まで全職員を対象とした連続研修を実施しました。

研修は、働きやすい環境の下で、職員ひとり一人が目標を設定し、仕事の質を常に高めていけることをめざし、「働きやすい労働環境の確立」、「コミュニケーション」など、九講座三十九会場で行われました。

特別養護老人ホームゆめの里和田



個別機能向上委員会を設置

ご利用者の安楽な体位と身体機能向上・拘縮予防を図ることを目的に、「個別機能向上委員会」を設置し、PT・OTによる指導や勉強会等活動を増やしています。職員は介護技術の向上も踏まえ、体の仕組み・体位交換の目的・ポジショニングの注意点を再確認し、ご利用者個別に相・評価しながら実施しています。

ゆめの里和田デイサービスセンター

楽しくケーキづくりも

ほとんどの利用者様は、自分で食べるものは自ら育て、食卓に並ぶものは手作りの物ばかりだった時代を過ごされた方々です。

その頃を思い出し一緒に野菜を育て、収穫した野菜で味噌汁やカレーやコロッケを作ったり、本格的なケーキも作れるようになりました。多くの仲間と美味しいものを食べると自然と笑い声も聞かれます。当デイサービスセンターはそんな楽しいひと時を過ごせる場所となっています。



おいしいケーキ作るヨ

ゆめの里和田訪問看護ステーション



医療度高い神経難病の方の援助も

ご本人・ご家族の気持ちを尊重し、住み慣れたご家庭で安心して療養生活を送っていただけるように適切な看護を真心こめて提供することを心がけています。特色として「神経難病の医療度の高いご利用者への訪問対応、外出援助」も行っています。

ゆめの里新村宅幼老所

地域へ出て交流を

新村福祉ひろばで隔月毎にひろば喫茶が開催され、お茶を頂きながらサークル活動の発表を見せていただいています。

2月にご利用者様と共に宅老所で行っている歌、体操等を披露しました。地域の方も一緒に参加していただき良い交流の場となりました。



リズムに合わせてイチ、ニツ

特別養護老人ホームゆめの里朝日



園児との感動の交流会開く

地域に親しまれる施設をめざす「ゆめの里朝日」。七月十六日は、朝日村立おひさま保育園の園児十九名が初めて来所、交流会を行いました。園児のみなさんの歌と踊りに入居者のみなさんも目を細めて楽しめました。最後は、ひとり一人のスキンシップに目を潤ませる光景もみられ、感動の交流会となりました。

ゆめの里朝日宅老所

大きなちぎり絵の完成めざし

宅老所では、ご利用者のみなさん一緒に縦一疋、横一・二疋のちぎり絵の大作に取り組んでいます。題名は「ひまわりのある朝日村の風景」。山や畑等はちぎり絵、ひまわりは立体的になるよう、花びらを一枚ずつ折って花を作っています。コツコツと根気のいる作業ですが、みんなで楽しみながら完成をめざしています。



村の特産レタスも立体ですよ

夏野菜の新作メニューを

訪問介護ステーションでは、毎月行っているヘルパー研修で、このほど調理実習を行いました。今回のテーマは『夏野菜』。ゴーヤ・ズッキーニ・ナス・レタス・キュウリ etc.

ご利用者さんのお宅にお伺いして調理をするので、新しいメニューをインプット!

訪問介護

栄養のバランス、ご利用者さんの嗜好にも考慮しながら調理しています。“おいしい”の言葉を励みに頑張っています。



ゆめの里福祉相談センター

地域に役立つ活動も

ゆめの里福祉相談センターの居宅介護支援事業所は、様々な職種（看護師、保育士、社会福祉士、介護福祉士等）で経験を積んだ9人のケアマネージャーが揃いました。

民生委員さんとの交流や老人クラブの方々に介護保険についての自作劇を見ていただくなど、地域に少しでも役立てるような活動もしています。

居宅介護支援



出展めざし練習の日々

松風園には、ゲートボール、卓球、民舞、生け花など十のクラブがあり、活発に活動が行われています。

今回ご紹介するクラブは『書道クラブ』です。書道クラブは毎月一回開催しており、使用する道具の用意から片付けまで全て皆さんで協力して行います。お手本を見てまずは新聞で練習…。皆さん真剣です！！静かな雰囲気か漂っています！！



「みなさん心を静め筆に集中して」

「なかなかうまく書けない。」と「口々に言いながら…清書して貼り出します。秋ごろには高齢者作品展や、入山辺地区の文化祭に出展するのでそれに向けて日々練習、練習です。」

トピックス

J A から車椅子を寄贈

昨年度、JA松本ハイランドより車椅子を八台寄贈いただきました。三月二五日、JA松本ハイランド本所で贈呈式が行われ、伊藤茂組合長から当法人各施設及びうつくしの里に手渡されました。各施設の内容は次の通りです。

ゆめの里和田（リクライニング車椅子二台、車椅子二台）、ゆめの里朝日（リクライニング車椅子三台）、松風園（車椅子一台）



[贈呈式でのJA松本ハイランド常勤役員と各施設長]

運動トレーニングで腰痛予防を

厚労省が六月に「職場における腰痛予防対策指針」を改訂するなど、国を挙げて腰痛予防対策に取り組む中、腰痛予防を運動トレーニングの面から実践しようとして昨年十二月と今年一月に松本大学の根本賢一先生を講師に迎えて研修会を実施しました。「正しい姿勢づくり」、「ウォーキング」、「腹筋を鍛える」など、腰痛予防のポイントとなるトレーニングの指導を受けました。



あしがき

今年も暑い夏です。ひと頃暑さと節電対策でクールビズやグリーンカーテンなどが話題となっていました。今ではそれは当たり前になっています。

腰痛予防も、運動トレーニングを日常生活の中に取り入れ、それが当たり前になれば効果が上がると思うのですが……。